



ざい ごう まち

在郷町って どんなまち?

古きよきものが残るまちの
なぜ? をひもとこう!

茨木市
Ibaraki City

在郷町ってどんなまち？

古きよきものが残るまちの「なぜ？」をひもとこう！

在郷町とは、農村地域で成長した商工業のまちのことです。
茨木市には、JR京都線、高瀬川、阪急京都線、元茨木川緑地に囲まれた場所にあります。
はじめは茨木城の城下町として始まり、江戸時代にお城がなくなってからは

在郷町として商工業が発展しました。
在郷町には、昔の人たちが大切にしてきたものがまちのあちこちに残っています。
そして、「なぜここに城下町がつくられたの？」「なぜ2階が低い建物があろう？」「なぜ顔の白い

お地蔵さんがたくさんいるの？」など、いろいろな不思議があります。
この冊子では、そんないろんな「なぜ？」をひもとき、昔の人たちの知恵と工夫にふれていきます。
一緒に在郷町を探検し、歴史や魅力を感じてみよう！



この冊子は、小学校・中学年以上の皆さんに、茨木の歴史や魅力を感じられる在郷町についてもっと知ってもらいたいという思いから生まれました。
冊子を通じて在郷町に興味や愛着を持ち、実際に訪れてもらうことを願っています。

もくじ

登場人物

1 在郷町の前は城下町
茨木城を守っていた人の気持ちになってまちを見てみよう！
3～4ページへ

2 昔の建物の工夫
町家で暮らしていた人の気持ちになってまちを見てみよう！
5～6ページへ

3 たくさんの人が行き交う街道
在郷町を歩いていた人の気持ちになってまちを見てみよう！
7～8ページへ

4 在郷町の昔と今
昭和時代の在郷町の暮らしをのぞいてみよう！
9ページへ

5 在郷町の歴史を
未来へつなぐ
10ページへ



Next!

在郷町の歴史年表

令和 2023年 (令和5年)	平成 1993年 (平成5年)	昭和 1873年 (明治6年)	1800年	1700年	江戸 1600年	1500年	1400年	むらまち 室町 1330年
茨木小学校開校 150周年	茨木城の櫓門を復元 (茨木小学校開校120周年)	茨木小学校が開校	茨木城が廃城	片桐且元が茨木城主に	中川清秀が茨木城主に 豊臣秀吉が支配	茨木氏が城主に	茨木城築城？	茨木城築城？
約80年前の在郷町	約180年前の在郷町	約300年前の在郷町	約410年前	約420年前	約450年前	約690年前		

トピック

さいごうまち じょうかまち なご
在郷町のあちこちに城下町の名残りがあります

なご名残り
1

いばらきじょう からめてもん
茨木神社の東門は茨木城の搦手門

いばらきじょう
茨木神社の東門は、茨木城に使われていた搦手門とされています。

からめてもん しろう うらがわ ひじょうぐち
搦手門・・・お城の裏側にあった門で、非常口のような使われ方をしていました。



番号
いちじょうほう
番号入り位置情報マークは
うらびょうし さいごうまちたんけん
裏表紙の「在郷町探検マップ」
れんどう
と運動しているよ!

なご名残り
2

いばらきじょう やぐらもん
茨木小学校の校門は茨木城の櫓門



そうりつ
茨木小学校の校門は、茨木小学校創立120周年を記念して茨木城の櫓門を復元したものです。

やくらもん かわら 櫓門の瓦には
かたぎりけ かもん
片桐家の家紋
やくらもん かわら
櫓門の上に櫓(武器や食料を保管したり、見張りをしたりする場所)をのせた、2階建ての門です。



まめちしき
豆知識

なご名残り
3

ちようじろ
丁字路や少しずれた曲がり角

じょうかまちとくゆう
城下町特有の道で、つきあたりを見通し悪くしたり、通りにくくしたりしています。これは、敵がお城を攻めにくくするための工夫です。

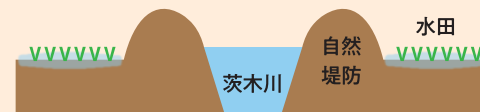


じょうかまち
城下町のなぜ?

なぜ① じょうかまち
なぜここに城下町がつけられたの?

てき
茨木のまちは「人の生活に適した土地」

茨木のまちは、近くの村を結ぶ交通の要所でした。また、現在のもといばらきがわりよくち しぜんていぼう
「元茨木川緑地」の両側には、自然堤防がつくられていて、その周りにはゆたかな水田が広がっていました。



じょうけん めく
このような条件に恵まれた土地だったので、ここに茨木のまちはつくられたんだよ。

いばらきじょう しろう
なぜ② なぜ茨木城はまぼろしのお城と言われているの?

しろう
今もなぞがたくさんあるお城

いばらきじょう げんざい
茨木城は、現在の茨木小学校のあたりに建っていたと考えられています。江戸時代にとりこわされるまでの間、茨木氏や中川きよひで かたぎりかつもと
清秀、片桐且元など、たくさんの武士に守られてきました。しかし、いつ、だれが、どのようにつくったかなど、詳しいことは分かっていません。

もしかしたら、みんながいる場所にも

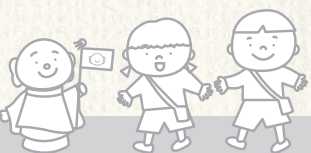
れきし
歴史をたどる手がかりが
ねむ
眠っているかもしれないよ!

1

在郷町の前は城下町
茨木城を守っていた人の気持ちになつてまちを見てみよう!

「城下町」はお城を中心にしてきたまち
昔、在郷町の場所には茨木城というお城がありました。そして、お城を中心に城下町というまちができました。城下町には、武士や商人、農民など、たくさんの方が住んでいました。

Let's go!



番外編 火縄銃の格子

たてもの 建物の2階の格子が
ひなわじゅう 火縄銃できている!

まちや 他にも、町家には面白いものが
たくさんあるよ。みんなの家と
ちが 違うところを探してみよう!

ひなわじゅう せんごくじだい せんじょう 火縄銃...戦国時代から戦場で
ぶき 使われていた武器

たてもの なぜ建物の2階の両わきから
なぜ③ 壁が飛び出しているの?

火事から家を守る

となりの家から火事が広がら
ないようにするためにつくら
れています。また、たてもの 建物のかざり
の意味もあります。



そどうだつ これは、「袖卯建」⁴⁵とよばれていて、
しょうにん 商人の家によくつかわれているよ。

たてもの 建物のなぜ?

なぜ① なぜ2階が低い建物があるの?

やねうら 屋根裏を有効利用



えどじだい ちょうにん ぶし 江戸時代には、「町人が武士を
見下ろさないように」という理
由で、2階建てが禁止されてい
ました。そこで、1階のやねうら 屋根裏
をつかって低い2階をつくり、
物置として使っていました。

このような低い2階のことを、
「厨子2階」・「中2階」⁴とよぶんだよ!

なぜ② なぜ2階が低い家には太い格子がついた窓があるの?

低い2階も快適に

つし かい 厨子2階(中2階)の明かりとり
や風通しをよくするためにつく
られています。



むしかご 外から見ると虫籠のようにみえるので、
「虫籠窓」⁵とよばれているよ。

登録有形文化財

川本本店のなぞにせまる

かわもとほんてん しょうこうぎょう おもかげ たてもの 川本本店は、商工業がさかんだった茨木の面影を伝える重要な建物として、
とうろくゆうけいぶんかざい とうろく 国の登録有形文化財に登録されました。

なぜ① トロッコのレール

- かわもとほんてん えどじだい あいぞめ いとな 川本本店は江戸時代から藍染やお米のお店を営んでいました。
- おく 昔はトロッコを使って重たい荷物を奥の倉庫まで運んでいました。

なぜ② さかさまから読む文字

- 昔は文字を右から左に読む風習がありました。
- がいへき 外壁にお店の名前と電話番号が書かれており、看板みたいになっています。



「町家」は商売をする人が住んでいた建物
街道沿いには、伝統的な方法で作られた立派な町家が今も残って
います。さらに、その町家には、快適に暮らすための工夫が
たくさん詰まっています。

Let's go!

なぜ③ ③
なぜトンネルのレンガが
ななめに積まれているの？



明治時代を代表するトンネル

これは明治時代にイギリスから伝わった特殊な技法で、「ねじりまんぼ」と言われています。天井のレンガが線路と直角になるように積むことで、重さに耐えられるような工夫をしています。



このトンネルは「丸また」⁸とよばれていて、
今も生活道路として使われているんだよ。

なぜ② ②
なぜ顔の白いお地蔵さんが
いるの？



地蔵盆できれいにお化粧

在郷町には、8月に行われる地蔵盆で、お地蔵さんの顔を白くぬる「化粧地蔵」の風習が残っています。



この風習は京都から伝わって、
茨木市の在郷町がもっとも
西の地域と言われているんだ！



トピック

今も昔も //

在郷町を見守るたくさんのお地蔵さん

道路沿いには、旅人の安全を願い、たくさんのお地蔵さんがまつられています。
いろんな表情のお地蔵さんに出会えるので、まちを歩きながら探してみてね。



在郷町の中には、

「茨木街道」「高槻街道」「茨木街道支線」「枝切街道」

という4つの街道が通っていて、近くの村やまちを結んでいました。

街道沿いにはお店や宿場があり、とてもにぎやかでした。

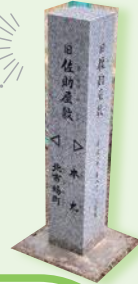
街道のなぜ？

なぜ① ①
なぜ道ばたに石が建っているの？



旅人の道しるべ

昔の人が目的地までの距離や方向を知るための目安として使っていたものを「道標」といいます。右写真のように、昔の地名を示しているものがあります。



昔の地名から、その場所がどのようなところ
だったかを読み取ることができるんだよ。

たとえば...

どのまち 殿町	茨木城の二の丸があり、この周りにお城を守る武士が住んでいたと考えられています。
ひがしほくろうちょう 東馬引口町	現在の茨木小学校から東に向かう道の両側で、牛や馬をあつかう人がたくさん住んでいたと考えられています。
ざいもくちょう 材木町	材木を中心としたお店が並び、茨木の人たちだけでなく、近くのまちからも品物を買いにやってきたと考えられています。
さすけやしき 佐助屋敷	安土桃山時代の武士で、茶人としても有名な古田佐介(古田織部)が住んでいた場所です。

二の丸...お城の中心である本丸の外側を区画していた場所、本丸の次に重要な場所でした。

ちしき
豆知識
現在の地名は
かたぎりかつもと
片桐且元にちなんで
かたぎりちよう
「片桐町」

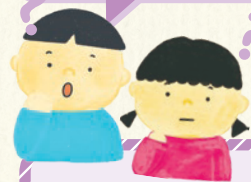
「街道」は村やまちを結ぶ大切な交通路
昔の人たちは、街道を通って遠くまで旅をしていました。
在郷町の北側にある「西国街道」は、京都から西の方を結ぶ
大きな道でした。

Let's go!





なぜ昔の建物を使っているの？



昔の建物を大切にすることは、歴史や文化を大切にすることにつながります。その建物のよいところを残しながら再生することで、昔の暮らしの一部を感じることができます。

昔の建物では、学校の授業や本で教えてもらう以上の貴重な体験ができるんだ。そして、たくさんの人にそのまちの魅力を知ってもらうこともできるんだよ。

みんなもぜひ体験してみてね！

むすびに

茨木市には、昔の人の知恵や工夫が詰まった在郷町というところがあるんだね！



今度近くに行ったら、在郷町を歩いてみよう！

5 在郷町の歴史を未来へつなぐ



令和の時代に

明治の町家がよみがえる

昔は住宅だった築140年の建物が、すでにカフェに生まれ変わって今も大切に使われています。木がたくさん使われていて、まるでタイムスリップしたみたい。昔の雰囲気を感ずることが出来ます。

4 在郷町の昔と今

昭和時代の在郷町の暮らしをのぞいてみよう！



茨木神社前

羽手門に向かって厨子2階の町家が並んでいます。



酒蔵 (茨木街道支線)



酒蔵で使われていたところが残っています。

中央通り (高槻街道)

大通りには低い建物が並んでおり、車がたくさん通っています。



本町通商店街 (高槻街道)

通りにはアーケードがかかっており、町家のお店も建っています。



在郷町のうつりかわり
江戸時代に茨木城がなくなっってから
は商工業の中心地として栄えた
在郷町。昭和の時代になると、ます

ます元気なまちになっていきます。
そのような中、城下町の名残を残
しつつ、発展が進んでいく。すこし
前の在郷町をのぞいてみましょう。

さい こう まち
在郷町
 たん けん
探検
マップ

さっし しょうかい
 冊子内で紹介したところを
 左の地図内に記号で表示し
 ているよ。

さっし さいこうまち
 この冊子を活用して在郷町
 を探検しよう！



記号



さっし れんどう
 冊子内と連動



じそう
 お地藏さん



どうひょう
 道標



さいこうまち きょうがい
 在郷町の境界



いばらきかいどう
 茨木街道



たかつきかいどう
 高槻街道



いばらきかいどう しん
 茨木街道支線



えだきりかいどう
 枝切街道

ふりがな
 (町名)

旧町名



めいじ きしよき あざがい
 明治期初期の字界



たんけん
 探検するときは
 安全にきをつけてにゃ

